

2025 年度の地質標本館スタッフによる 館外イベントへの協力活動

兼子 尚知¹・川辺 禎久¹・中村 由美¹

1. はじめに

2025(令和7)年度に、地質標本館スタッフが出展協力した館外イベントを取りまとめました。各イベントのブースでは、多くの来場者に楽しく体験してもらいながら地質学研究の一端に触れていただきました。

2. 出展協力を行った館外イベント(スタッフ名は敬称略)

2.1 SCIENCE & TECHNOLOGY PRE EVENT 2025

日付場所：2025年4月12日(土) つくばセンター広場(茨城県つくば市)

タイトル：星砂を観察しよう！

スタッフ：【地質標本館】兼子尚知・川邊禎久・下川浩一・中村由美・瀬口寛樹・藤原智晴・福田和幸・朝川暢子・清水裕子
【地圏資源環境研究部門】持丸華子
【ネイチャーポジティブ技術実装研究センター】井口 亮

市民のための科学技術週間に向けたイベントへの出展として、星砂観察のブースを野外テント下で運営した(第1図)。予約登録無しとし、参加者が星砂(大型有孔虫の殻を主体としたサンゴ礁域の海浜砂)を厚紙の台紙に両面テープで貼り付けて簡易プレパラートを作成し、携帯型実体顕微鏡や虫眼鏡で観察する(兼子ほか, 2025)。プレパラ

ートはおみやげとして持ち帰ってもらい、計 284 枚を配布した。

2.2 令和7年 経済産業省こどもデー

日付場所：2025年8月6日(水)・7日(木) 経済産業省本館(東京都千代田区)

タイトル：星砂を観察しよう！

スタッフ：【地質標本館】兼子尚知

【地質調査総合センター連携推進室】清水 徹・竹田幹郎

【地圏資源環境研究部門】持丸華子・長澤 真

【活断層・火山研究部門】小松原純子

【再生可能エネルギー研究センター】中山宏之

【ネイチャーポジティブ技術実装研究センター】橋本優里

経済産業省において開催された「経済産業省こどもデー」に GSJ から星砂観察のブースを出展した(小松原ほか, 2026)。予約登録無しで参加者が星砂の簡易プレパラートを作成し、携帯型実体顕微鏡や虫眼鏡で観察した(第2図)。2日間でプレパラート 884 枚を配布した。

2.3 産総研四国センター一般公開 2025

日付場所：2025年8月8日(金) 四国センター(香川県高松市)

タイトル：絵の具になる鉱物



第1図 野外テントでの星砂観察。

¹ 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

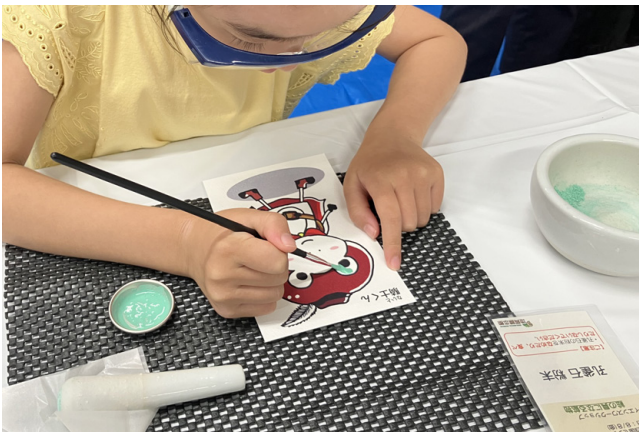
キーワード：地質標本館, 星砂, 絵の具, 鉱物, 化石, レプリカ, 一般公開



第2図 大盛況だった経済産業省こどもデーの星砂観察。



第4図 FREA 一般公開の星砂観察。



第3図 四国センター一般公開の岩絵具体験。



第5図 九州センター一般公開の化石レプリカづくり。

スタッフ：【地質標本館】川邊禎久・瀬口寛樹・兼子尚知・中村由美・清水裕子・朝川暢子

産総研四国センターの一般公開で、「絵の具になる鉱物」と題してサイエンスワークショップを実施した。3回に分けて事前予約の参加者計38名に岩絵具づくり(川辺ほか, 2024)を体験していただいた(第3図)。

2.4 産総研 FREA 一般公開 2025

日付場所：2025年10月4日(土) 福島再生可能エネルギー研究所(FREA：福島県郡山市)

タイトル：星砂を観察しよう！

スタッフ：【地質標本館】兼子尚知・川邊禎久・中村由美・藤原智晴・朝川暢子・清水裕子

産総研 FREA 一般公開で、星砂観察のブースを出展した。予約登録無しで参加者が星砂の簡易プレパラートを作成し、携帯型実体顕微鏡や虫眼鏡で観察した(第4図)。プレ

パラートを175枚配布した。

2.5 産総研九州センター 2025 一般公開

日付場所：2025年11月1日(土) 九州センター(佐賀県鳥栖市)

タイトル：化石のレプリカをつくろう

スタッフ：【地質標本館】兼子尚知・中村由美

【地域センター】松山修一・中島美奈子・原美絵・古賀淑哲・藤猪和也・長岡千尋・中村由加里

産総研九州センター一般公開で、事前予約イベントとして化石レプリカ作りを実施した。シリコン製の型に石膏を流し入れて作成する方法で、アンモナイトの型を使用した(利光ほか, 2000)。3回に分けて参加者計60名に体験していただいた(第5図)。



第6図 関西センター一般公開の岩絵具体験.

2.6 産総研関西センター一般公開 2025

日付場所：2025 年 11 月 8 日(土) 関西センター（大阪府池田市）

タイトル：孔雀石から絵の具を作ろう

スタッフ：【地質標本館】川邊禎久・中村由美

【地域センター】赤井智子・松浦晃久・清水目恵子・濱田佳子

産総研関西センター一般公開で昨年に引き続き孔雀石からの絵の具作成サイエンスワークショップを行った。3 回に分けて事前予約の参加者計 43 名に岩絵具づくり(川辺ほか, 2024)を体験していただいた(第6図)。

3. おわりに

館外イベントへの出展協力は宿泊出張を伴うことが多く、期日に間に合うよう物品を発送するなどの負担があり

ますが、遠方のために地質標本館になかなか来館いただけない方々に参加してもらえよい機会です。また、GSJ 各ユニットや開催地をはじめとする所内スタッフのご協力があったこそ、このようなイベントの実施が可能となります。2025 年度も各地の出展に参加・協力させていただいたこと、関係者のみなさまに深くお礼申し上げます。

文 献

兼子尚知・利光誠一・武井勇二郎・瀬口寛樹・朝川暢子・清水裕子(2025) ミニミニ一般公開 SECOND「星砂を観察しよう！」開催報告. GSJ 地質ニュース, 14, 158-159.

川辺禎久・福田和幸・瀬口寛樹(2024) 地質標本館体験イベント「絵の具になる鉱物」開催報告. GSJ 地質ニュース, 13, 239-242.

小松原純子・清水 徹・持丸華子・竹田幹郎・兼子尚知・中山宏之・橋本優里・長澤 真(2026) 経済産業省こどもデー出展報告. GSJ 地質ニュース, 15, 56-57.

利光誠一・坂野靖行・柳沢幸夫(2000) 体験コーナー — 化石のレプリカを作ろう—. 地質ニュース, no. 546, 29-30.

KANEKO Naotomo, KAWANABE Yoshihisa and NAKAMURA Yumi (2026) External event support activities by Geological Museum staff in 2025FY.

(受付：2026 年 2 月 27 日)